

農水省の「つなぐ棚田遺産」認定



三ツ石棚田を案内する看板の設置を祝った除幕式
＝下呂市乗政

三ツ石棚田に紹介看板

下呂市 伝統継承へ決意新た

景観保存などに取り組み、棚田を農林水産省が認定する「つなぐ棚田遺産」に選ばれた三ツ石棚田(下呂市乗政)に、棚田を紹介する看板が設置された。地域住民らが除幕をし、満開のハナモモが彩る棚田を前に、棚田の景観や伝統文化の継

承への決意を新たにした。三ツ石棚田のある三ツ石地区は標高約700㍍。棚田の面積は12万平方㍍で、ほ場整備が1985年から行われた。住民が一体となって季節ごとの祭礼や行事を行うなど、集落全体で棚田を中心とした伝統文化の

継承に力を入れている点などが評価され、つなぐ棚田遺産の認定を受けた。

案内看板は三ツ石地区の入り口付近に設置。大きさは1㍍四方で、四季の風景写真を交えて紹介している。棚田の保全活動を支援している県信用農業協同組合連合会(JA岐阜信連)が企業版ふるさと納税制度を活

用して寄付をし、住民らが整備した。

除幕式にはJA岐阜信連の渡邊茂典代表理事理事長や山内登市長、地域住民ら約40人が出席。渡邊理事長は「棚田は地域の生活そのもの」と述べ、環境保全の役割も果たしている棚田を後世に引き継ぐ意義を示した。(広瀬丈士)